



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立 1964年3月2日 例会日 毎金曜日12時30分 例会場 オークラ千葉ホテル
会長 鈴木 美津江 幹事 杉本 峰康 会報委員長 村田 紀之

〈事務局〉 〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)

2013年4月第4週号

第2401回



平成25年4月26日(金) 点鐘12:30(晴れ)

ロータリーソング『それでこそロータリー』
四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■お客様紹介

なし

■会長挨拶及び報告 鈴木 美津江会長

皆さん、こんにちは。昨日、私どもの業界の催しの中で、テレビ等で良くご存知かと思いますが、服部幸應先生のお話を聞いてまいりました。医療費が食べるものによって上がったりが下がりやすくなることでした。塩分が多いと、高血圧や腎臓病がおおくなることなのです。今、日本人の平均塩分摂取量が男性で11.9g、女性で10.1g、国の基準は、男性9g、女性7.5gだそうです。しかし、WHOでは、5g以下の摂取を奨励していることなのです。気を付けましょう！

■幹事報告 杉本 峰康幹事

・次回の例会は、5月10日(金)となりますので、宜しくお願い致します。

■ニコニコボックス報告

★鈴木 美津江会長、杉本 峰康幹事

本日は、松崎会員の卓話になります。会員一同楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

★齋藤昌雄会員、植松省自会員

29日の地区協議会へご出席の皆様、30日の次年度理事・役員委・員長会議へご出席の皆様、連続で申し訳ございません！ 何卒、宜しくお願い致します。

■出席報告 (会員数44名)

出席者数34	欠席者数10	ビジター 0	修正出席率100%
--------	--------	--------	-----------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	5/14	センシティブ「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/28	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	5/15	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	5/16・5/30	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	5/16・5/30	京成ホテルミラマレ

……本日の卓話……

演 題…『環境にやさしく低廉で安定した電気をお届けするために』
卓話者…松崎 章夫会員



環境にやさしく低廉で安定した電気をお客さまにお届けすることが電力会社の使命です。その使命を遂行するために、これまで電力会社が何をしてきたか、今後、再びその使命を全うするためにどうすべきかについて、お話しさせていただきます。

停電が極めて少ない日本

日本の停電の少なさは先進国中でも突出しています。2002年における一般家庭の年間停電時間は、アメリカ 73分、イギリス 63分、フランス 57分、と欧米でも毎年1時間程度停電するのに対して、日本は9分となっています。このように日本では停電しないのが当たり前ですが、そのために電力会社では、電力設備の故障による停電を未然に防ぐため、送配電ルートの多様化、無停電工事、最新鋭の発電機の導入等を積極的に実施しています。

下がり続けた電気料金

電気料金と他の公共料金を比べると、昭和55年を1.0とした場合、平成22年には水道料金1.87倍、郵便料金1.80倍、JR運賃1.42倍と増えたのに対して、電気料金0.71倍

本日のニコニコボックス	5,000円	累計	678,000円
金の箱	173円	累計	11,852円

と3割値下げしています。しかしながら、原子力発電所が止まったことによって、昨年に火力発電所の焚き増しのために10%前後値上げし、ご迷惑をおかけしています。

エネルギーミックス

低廉で安定した電気をお客さまにお届けするためには、ひとつの電源に偏らず多様な選択肢を持つことが大切です。

石油火力発電は最も多いときには7割以上を占めていました。しかし、1970年代の2度にわたるオイルショックを教訓に、その後は、石油を減らし、天然ガス、原子力を導入拡大し、多様なエネルギーをバランスよく組み合わせしてきました。震災前は、原子力29%、天然ガス29%、石炭25%、石油8%、水力9%というバランスの取れた構成でした。

EUの電源構成比をみると、ドイツは石炭44%、フランスは原子力76%、イタリアは天然ガス51%となっています。イタリア、ドイツは原子力ゼロを目指していますが、フランスの原子力発電から電気を輸入しています。隣国から電気を輸入することができない日本では、わが国単独でベストなエネルギーミックスを確立するほかにありません。

将来は、再生可能エネルギーを最大限活用し、コストや燃料調達の安定性などを踏まえて火力発電の燃料をバランスよく組み合わせる、安全確保を前提として原子力発電を今後も重要な電源として活用していく、ということが大切と考えています。

資源競争の激化

世界で増加するエネルギー需要を背景に、資源競争が激化しており、安定したエネルギー資源の確保が課題となります。

世界の人口は今後もアジアやアフリカを中心に増加し続け、エネルギー需要の増加も見込まれています。特に、中国やインドの急速な経済成長に伴うエネルギー需要増大によって、2035年のアジア(日・韓除く)のエネルギー需要は2010年の約2倍にもなると予測されています。

しかし、問題は世界のエネルギー資源には限りがあるということです。可採年数は石炭112年、ウラン93年、天然ガス63年、石油54年となっています。すでに限られた資源を確保すべく世界的な資源獲得競争が進んでいます。

エネルギー輸入依存度が極めて高い日本

自国に資源を持たない国の輸入依存度は高く、日本96%、フランス91%、イタリア83%となっています。また、使用済みウラン燃料を再処理することによって、再び発電できる原子力発電を準国産エネルギーとすると、原子力大国であるフランスの輸入依存度は48%とかなり低くなります。日本も81%とそれなりに低くなります。

脆弱なエネルギー供給構造のもとでも、電力会社では可能な限りエネルギー資源の安定確保を図っています。安価で豊富な海外炭を、原子力とともにベース電源として位置づけ、環境対策に対処した石炭火力発電の開発を進めてきました。また、政情不安を抱える中東産油国以外から輸入する等、エネルギーの安定確保に努めています。

再生可能エネルギーを積極的に推進

CO₂の排出抑制対策のため、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの開発・普及を積極的に推進しています。

2012年7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取

制度」がスタートしました。再生可能エネルギー源(太陽光、風力等)を用いて発電される電気を電力会社が買い取り、その費用は電気を使用されるすべてのお客さまに、電気料金の一部としてご負担をお願いしています。

電源種別による発電コストの比較

平成23年12月、政府の委員会が電源別発電コストの試算結果では、原子力、石炭、天然ガス、水力は、kWhあたり10円前後であるのに対して、風力は1倍から2倍、太陽光は2倍から4倍となっています。試算の過程では、原子力事故リスク対応費用、環境対策(CO₂対策)費用についても検証の上、発電コストに加味しています。

原子力発電と太陽光・風力発電を、必要な敷地の広さと建設コストで比較してみると、原子力発電所100万kW級(約2,800億円)を太陽光発電で置き換えるには、山手線の内側とほぼ同じ面積(約3.9兆円)、風力発電で置き換えるには山手線内側の3.4倍の面積(約8,700億円)が必要となり、再生可能エネルギーで原子力発電所を全て置き換えることは、現実的な話ではありません。

火力発電所の熱効率向上

火力発電所の熱効率の向上や送配電ロス率の低減によって、省エネルギー、CO₂排出量削減、そして電気料金の低減につなげることが重要です。わが国は、発電設備の大容量化等によるエネルギーの効率的利用に取り組んできた結果、熱効率や送配電ロス率は世界のトップレベルにあります。

国際的に低かった日本のCO₂排出原単位

発電電力量あたりのCO₂排出量を比較すると、日本は原子力比率が高いフランス、水力比率が高いカナダには及びませんが、震災前は低い水準にありました。電力会社が原子力を中心とした発電設備構成を目指す等供給側のエネルギーの低炭素化と、お客さま側のエネルギー利用の効率化という需給両面で取り組んできた結果です。23年度以降は原子力発電所が止まったことよりのCO₂発生量が増えています。

再生への経営方針

原子力発電所事故の責任を全うし、世界最高水準の安全確保と競争の下での安定供給をやり抜くために、福島第一原子力発電所の廃炉、福島復興に向けた取り組み、聖域なき抜本的な原価低減の実現と安定供給の両立など、やるべきことを全力で進めています。再び、環境にやさしく低廉で安定した電気をお客さまにお届けできるよう全力を尽くします。引き続き、地域のみなさまの忌憚ないご意見、ご理解をいただきますよう、何卒よろしくお願いたします。

(文 松崎 章夫会員)

第2402回例会

日時⇒ 平成25年5月10日(金) 点鐘12:30

卓話演題⇒ 『会員ミニ卓話』

第2403回例会

<ロータリーを知る会>

日時⇒ 平成25年5月17日(金) 点鐘12:30

卓話演題⇒ 『平和フォーラムについて』

卓話者 ⇒ 国際ロータリー第2790地区

第3分区Bガバナー補佐 田仲 正道様